www.okinawa-gairaisyu.com

OKINAWA PREFECTURE INVASIVE SPECIES

HANDBOOK

外来両生爬虫類の特徴と見分け方



沖縄外来種.com

沖縄の外来両生爬虫類の特徴と見分け方

P2 グリーンアノール

P6 タイワンハブ

P10 タイワンスジオ

P14 オオヒキガエル

P18 外来種を拡げないための注意すべき点

P20 外来種の取り扱いについて

目撃情報を募集しています

あなたの投稿する情報が、
沖縄の生物多様性を守ります。

https://okinawa-gairaisyu.com/contact-form/

投稿の際は、なるべく写真を添付してください。

沖縄外来種.com

外来種の何がダメなの？

外来種はわたしたちのくらしに欠かせないものです。たとえばゴーヤー（熱帯アジア原産）、サトウキビ（ニューギニア原産）、デイゴ（インド～マレー半島原産）、ヤギ（西アジア原産）も外来種です。人間がきちんと管理していれば、問題になることはほとんどありません。

しかし、野外に逃げ出したり捨てられてしまった動植物や、貨物にまぎれて気づかぬうちに持ち込まれてしまった動植物など、人間が管理できていない外来種は、生きるために畑の作物やほかの生き物を食べたり、身を守るために人を攻撃したりすることがあり、その結果、地域の生態系や環境にさまざまな悪影響をおよぼしてしまうことがあります。

侵略的な外来種を作りだし、それを拡げてきたのは、わたしたち人間です。外来種を適切に管理して、これ以上侵略的な外来種を拡げないこと、新たな侵略的な外来種を作りださないことが大切です。



特定外来生物

グリーンアノール

学名：*Anolis carolinensis*
英名：Green Anole

形　態	全長12～20cm
食　性	主に小さな昆虫類やクモ類などの節足動物
生息環境	公園や街路樹、林縁、庭木などの幹や枝・葉の上
生　態	昼行性で樹上性。素早く体色を変化させる。日当たりのよい枝などで日光浴をする。
影　響	特に樹上性かつ昼行性の昆虫類等の捕食、生態の似たトカゲ類との競合。
生息地域	県内では那覇市、豊見城市、浦添市、うるま市、座間味村(座間味島)など

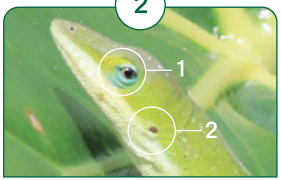
グリーンアノールの特徴

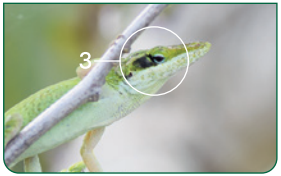
1



「デュラップ」と呼ばれる赤いのど袋をふくらませて威嚇やメスへのアピールをする

2





1：目のまわりが青い
2：耳は穴が開いているだけ
3：興奮すると目の後ろが黒くなる

3



体の色をすばやく変える

間違えやすい在来種

アオカナヘビ



1：目の周りが青くない
2：側面に白いすじ
3：尾が特に長く、グリーンアノールより細い体



オキナワキノボリトカゲ



1：目の周りが青くない　2：後頭部にトサカ　3：角ばったあたま



特定外来生物

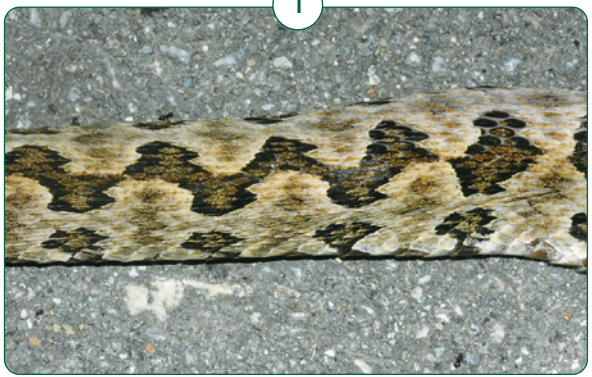
タイワンハブ

学名：*Protobothrops mucrosquamatus*
英名：Taiwan Habu

形　態	全長60～130cm 頭部は二等辺三角形 体色は茶色地に黒い斑紋
食　性	小型の哺乳類、両生爬虫類など
生息環境	低地から山地森林域、住宅地周辺 など幅広い環境に生息
影　響	在来動物の捕食、人への咬傷被害、 ハブとの交雑による遺伝的攪乱、 在来ヘビ類との競合
生息地域	名護市、本部町、今帰仁村、恩納村、 読谷村など

タイワンハブの特徴

1



中央に斑点かジグザグ模様

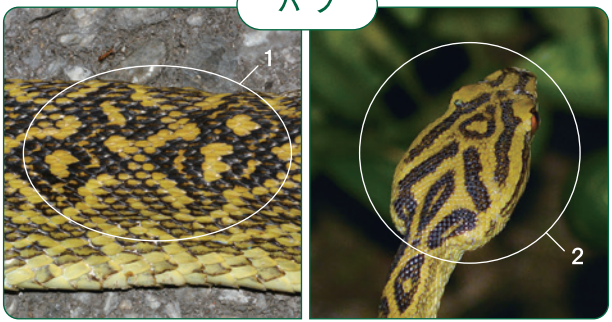
2



体色はやや暗い

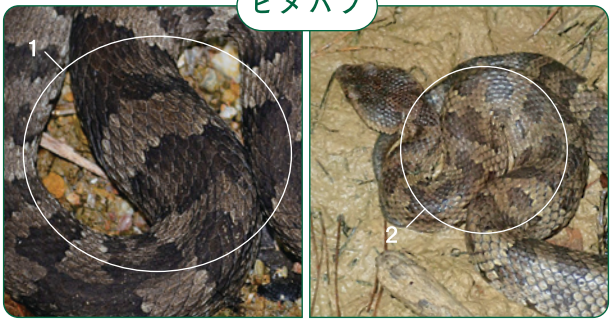
間違えやすい在来種

ハブ



1：模様は左右でペア
2：体色は明るく、頭部の模様もハッキリ

ヒメハブ



1：模様は横帯
2：頭部は暗く、模様はない



特定外来生物

タイワンスジオ

学名：*Elaphe taeniura friesi*
英名：Taiwan beauty snake

形　態	全長最大270cm 眼の後ろに明瞭な黒い線 尾に黒いスジが走る
食　性	小型哺乳類や鳥類
生息環境	森林、河川、湿地、公園、農耕地、 住宅地、工業地、海岸付近等
生　態	主に昼行性だが気温の高い夏場などは 夜間にも活動する。主に樹上性だが 地表でも活動する。他のヘビ同様に 隙間環境を好む。
影　響	大型に成長するため、やんばるに侵入 した場合、ケナガネズミやヤンバルク イナ等の固有哺乳類・鳥類の捕食が 強く懸念される。
生息地域	名護市、恩納村、沖縄市、北谷町など

タイワンスジオの特徴

1



1：目の後ろに黒い筋
2：尾に黒い筋

2



白色個体も見られる

間違えやすい在来種

ハブ



1：頭が三角形で模様がある
2：尾に黒い筋がない



特定外来生物

オオヒキガエル

学名：*Rhinella marina*
英名：Cane toad / Marine toad / Giant toad

形　態	全長9～27cm 背中にイボイボ 目の後ろに膨らんだ毒腺がある
食　性	昆虫類、両生爬虫類、小型哺乳類など幅広い。
生息環境	成体は森林、河川や池等の水域、公園、農耕地、住宅地など
生　態	夜行性で、河川や池・水たまりなどに産卵。 1匹のメスが数千～数万個の卵を産む。
影　響	在来生物の捕食、在来カエル類との競合、毒による被害 (人間、ペット、猛禽類などへの影響)
生息地域	南北大東島及び石垣島に定着。 那覇市、浦添市、竹富町(西表島)などでも確認事例あり。

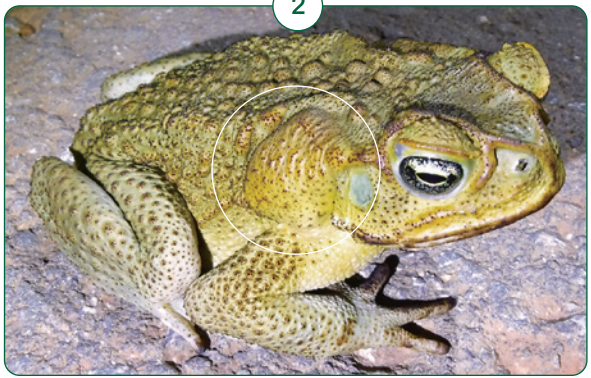
オオヒキガエルの特徴

1



1：背中にイボイボがある

2



2：目の後ろに大きな膨らみのある毒腺がある

間違えやすい在来種

※宮古諸島にのみ生息する

ミヤコヒキガエル







1：イボが小さく背中がなだらか　2：膨らんだ毒腺が無い

外来種を拡げないためのお願い

県民の皆様

車に乗る時には、外来種がボンネットや荷台などに付いていないかよく確認してください。

実際に、グリーンアノールが車体に付いて移動した例や、ヘビが荷物の隙間に入り込んでいた例があります。

事業者の皆様

1 レンタカーを貸すときにはボンネットなどに乗っていないか確認してください。

2 工事現場では資材搬入時に荷物の隙間などにいないか確認してください。

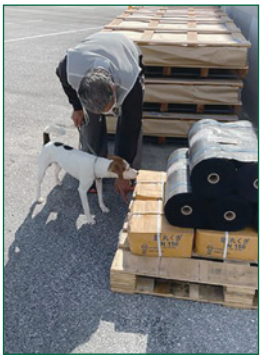
3 物流拠点では、トラックやコンテナなどにまぎれ込んでいないか確認してください。

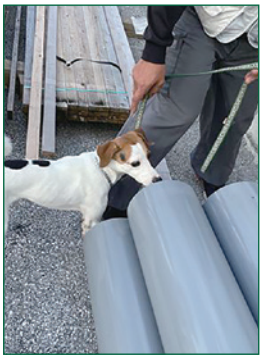


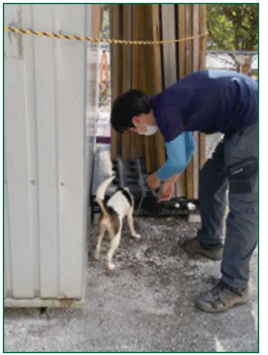


探索犬を派遣します

資材を搬入する場合など、怪しいと思ったら連絡をください。外来種(ヘビ類)探索犬などによる調査を実施します。









事業者・県民の皆様の責務

外来生物法では、事業者及び国民の責務が定められており、違反時には罰則もあります。

1. 外来種に関する知識と理解を深め、適切に取り扱うよう努めること

外来種被害予防三原則「入れない」、「捨てない」、「拡げない」を守りましょう

2. 沖縄県などが実施する特定外来生物の防除に関する施策に協力すること

特定外来生物が侵入・生息している場所では、国・県・市町村・関係事業者の皆様などが相互に連携して対策をするよう努めなければなりません。とくに、その土地や施設の所有者・管理者は、その場所を適切に管理する責任があるため、積極的な取組が期待されています。

3. 物品の輸入、輸送又は保管を他人に請け負わせる事業者は、請け負った事業者が外来生物法を遵守できるよう配慮すること

特定外来生物が付着をしている物品等に対する検査や消毒又は廃棄の命令、移動の制限などの命令が、請け負った事業者に対して出されることがありますので、物品の輸入、輸送又は保管を他人に請け負わせる事業者は、請負業者がその命令を遵守するよう配慮する必要があります。

外来種は、ひとたび侵入・定着してしまうと、
その防除に多大な労力と費用がかかります。
外来種の侵入予防、早期発見・通報、行政の施策への協力、
法令の遵守などへのご協力をお願いいたします。

目撃情報を募集しています

あなたの投稿する情報が、
沖縄の生物多様性を守ります。

https://okinawa-gairaisyu.com/contact-form/

投稿の際は、なるべく写真を添付してください。

沖縄外来種.com

お問い合わせ

株式会社島嶼生物研究所
TEL 098-914-4778 / MAIL okinawa.gairaishu@gmail.com

沖縄県環境部自然保護課
TEL 098-866-2243